

MX-OPT-Input1-EXT



- センサーを接続するための6つの自己電源入力
- 最大100 mまでのMxBusによる接続（2線式）
- 最大50 mの信号入力ライン

耐候性信号入力 MOBOTIXデバイス

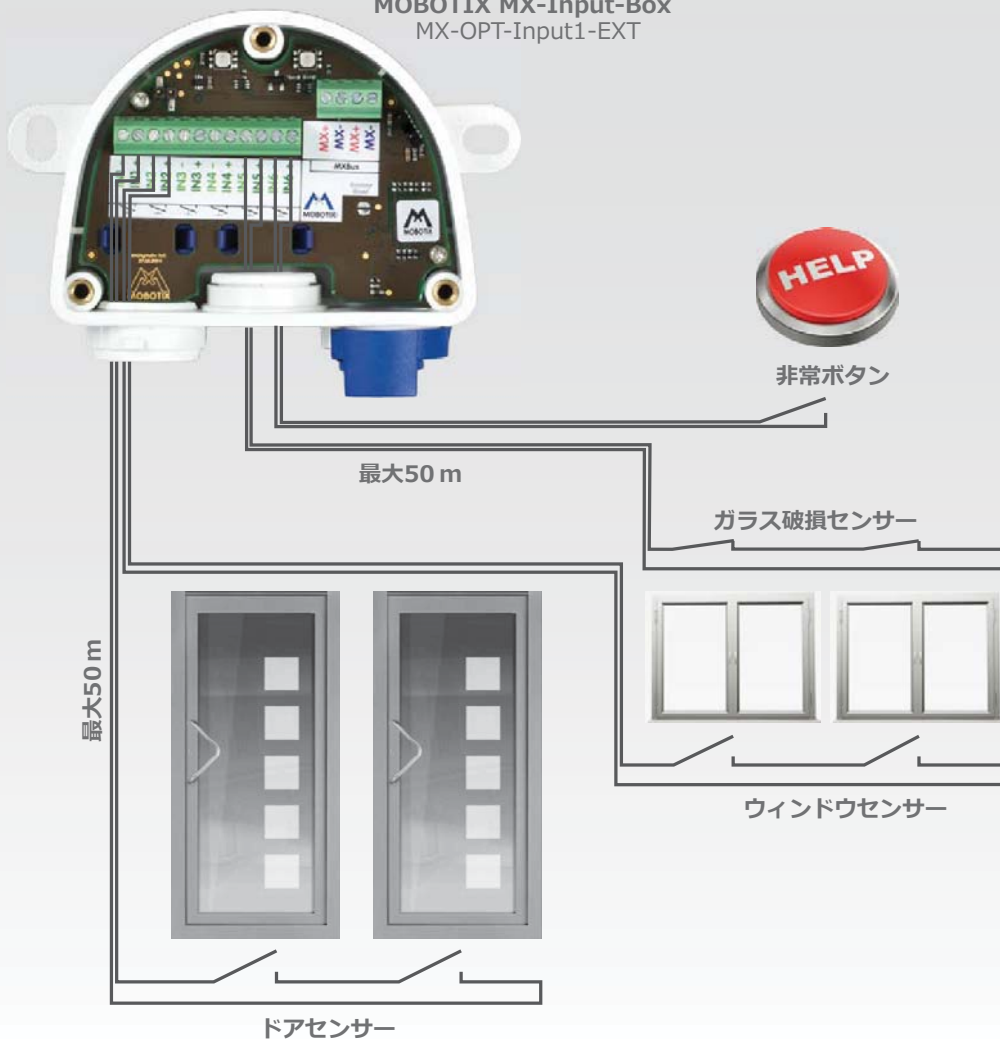


MxBusを介したMOBOTIXカメラへの外部
センサーの接続

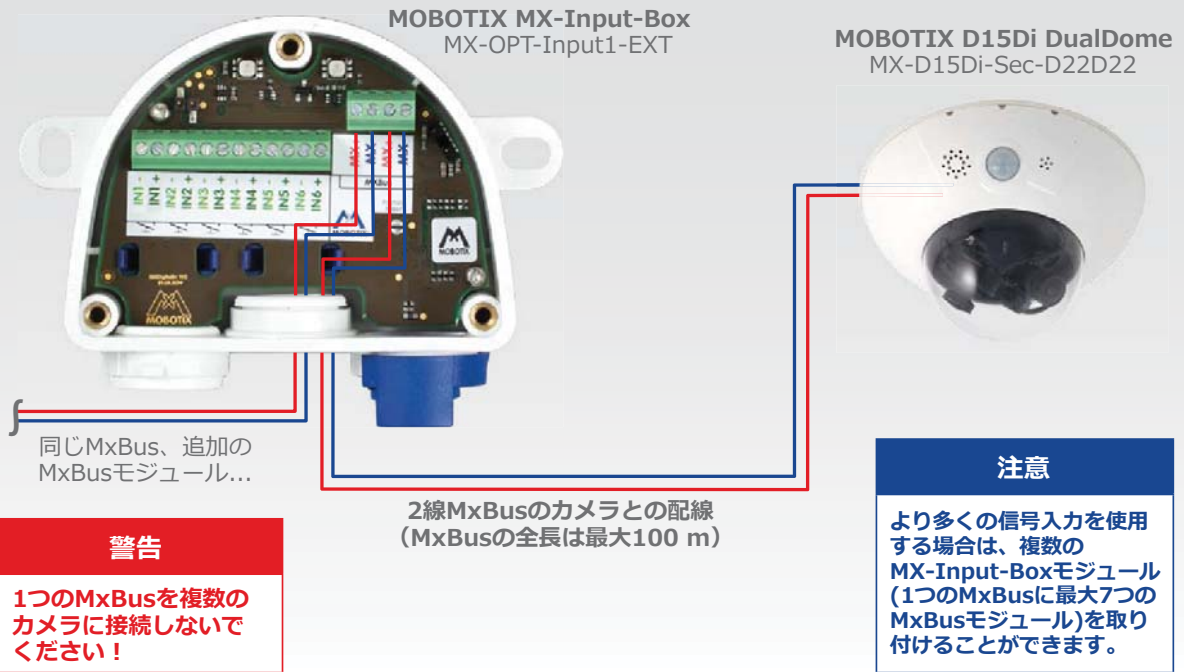
31.996-002_EN_06/2015

センサーの接続（例）

MOBOTIX MX-Input-Box
MX-OPT-Input1-EXT



MxBusを介したカメラへの接続



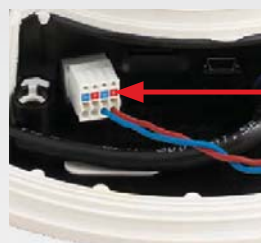
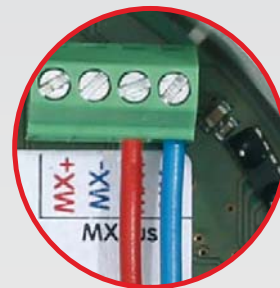
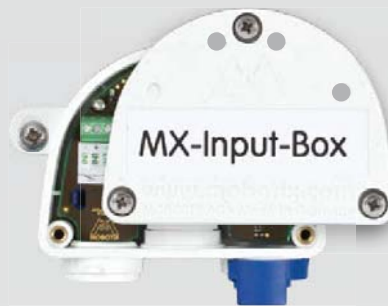
取り付け手順

1. ボックスを取り付け

MX-Input-Boxを取り付け位置に取り付け、ケーブルポートを下向きにします(トルク0.4 Nm)。次に、ボックスカバー(3本のネジ)を外します。

2. カメラとの接続を確立する

- 作業を進める前に、MxBusワイヤに電流が流れていないことを確認してください。
- (2線式、0.6~0.8mmの直径)MxBusケーブルを切断します。ジャケットのないワイヤを使用する場合は、ワイヤの絶縁を5mm剥がし、ワイヤを8線式プラグ(右)に押し込みます。
- ジャケット付きケーブルを使用する場合、プレインストール8線式プラグを取り外し、適切なケーブルプラグ(3~5mm又は5~7 mm)を挿入します。リムが両側に等しく張り出すように、ゴム製のプラグをケーシングに押し込みます。ケーブルをプラグに押し込み、シースを15 mmの長さで取り外し、ワイヤの絶縁部を約5 mmはがします。
- ドライバーを使用してMxBus線をMX-Input-Boxの端子に接続します。極性を維持してください(端子の前にステッカーを見てください)。
- MOBOTIXカメラまたはカメラに接続された別のMxBusモジュール(例: KeypadRFID、MX-DoorMaster)に、対応するマニュアルに記載されているMxBusワイヤを接続します。MxBus配線の全長(最大100 m)を超えないようにしてください。



MOBOTIX D15Di
のMxBusプラグ

3. 周辺機器を接続する

必要に応じて、対応するケーブルプラグ(入力、MxBus)を使用して、他のワイヤ/ケーブルを接続します。

4. ケーブルを所定の位置でロックする

図のように、付属のケーブルに応じて1つまたは2つのケーブルタイを挿入します。ストレーンリリーフを行うために、ケーブルの周りをケーブルタイをしっかりと引きます。



5. カバーを取り付ける

カバーをMX-Input-Boxに取り付け、カバーねじ(トルク0.4Nm)で締め付けます。

イノベーション - Made in Germany




ドイツの会社MOBOTIX AGはネットワークカメラ技術のパイオニアとして知られています。

その分権化されたコンセプトは、高解像度ビデオシステムをコスト効率の高いものにしました。

MOBOTIX AG • D-67722 Langmeil • Phone: +49 6302 9816-103 • Fax: +49 6302 9816-190 • sales@mobotix.com

LEDシグナリング



-  LEDが消灯
-  LEDが恒久的に点灯
-  LEDが点滅する

LED		意味
動作 (左)		接続されていません
		通常の動作
		暗号化されていない通信
		通信中のエラー
I/Oステータス (右)		<p>信号入力の1つが閉じている限り：</p> <p>6つの入力すべてを順番に表示し、4秒間停止します。</p> <p>閉じた信号入力では、LEDが一度緑色に点滅し、開いている入力が一度青色に点滅します。</p>

MX-Input-Boxの初期操作

1. ブラウザでMOBOTIXカメラのユーザーインターフェイスを開く

- ブラウザ（管理者アクセス権が必要）でMX-入力ボックスに接続されたカメラのIPアドレスを入力します。

http : //<ip address of camera>

2. カメラがPoEクラス3を使用していることを確認する

- Admin Menu>イーサネットインターフェイスダイアログを開きます。
- 電源がEthernet over Power(クラス3)に設定されていない場合は、チェンジリンクをクリックし、ウィザードの手順に従ってPower over Ethernet(クラス3)をアクティブにします。

3. MX-Input-Boxを有効にする

- Admin Menu> ハードウェア拡張管理ダイアログを開きます。
- MxBusインターフェイスのLEDアイコンが緑色でない場合は、「接続」をクリックします。
- Admin Menu> 「MxBusモジュール管理」ダイアログボックスの「デバイス」セクションの「MX-Input-Box」行で、「アクティブ」ボタンをクリックします。
- SW更新ボタンが表示された場合は、そのボタンをクリックして、接続されているすべてのモジュールのソフトウェアを更新します。
- 同じダイアログで「MxMessageSystemの設定」ボタンをクリックします。
- 「接続されたデバイスの設定を読み込み」をクリックします。
- 「すべてのデバイスのデフォルト設定を作成」をクリックします。

- 必要に応じて、個々の入力の設定(たとえば側面の検出)を調整し、次に設定を書き込む(設定を保存します)をクリックします。
- 「MxBusモジュールのMxMessageSystem」ダイアログで「閉じる」ボタンをクリックします。

4. イベントの設定

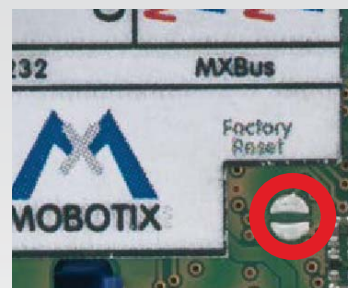
- 「Setup Menu」> 「イベント概要」ダイアログを開きます。
- 「メッセージイベント」セクションで、「編集」をクリックして新しいプロファイルを追加し、MxMessageSystemをイベントセンサータイプとして選択します。
- MxMessageSystemのわかりやすい名前(例：「セキュリティカメラ」)を入力し、それに応じて生成されたプロファイル名(例：「SC」など)を調整します。
- 設定を保存した後(「Set」をクリック)、Setup Menu> 「アクショングループの概要」ダイアログで新しいイベントを使用できます(このダイアログのヘルプページを ? クリックして参照してください)。
MxMessageSystemの詳細については、このダイアログのヘルプページ (? をクリック) または www.mobotix.com>サポート>メディアライブラリ>コンパクトガイドを参照してください。技術ノート：MxMessageSystem

5. カメラの設定を保存する

- カメラの設定をローカルコンピュータに保存します (Admin Menu>設定>保存)。
- カメラのライブ画面では、Admin Menu > 「設定」> カメラ設定を永続的に保存し、カメラを再起動します。

MX-Input-Boxのリセット

取り外す前にMX-Input-Boxを別のカメラに接続し、非アクティブ化またはリセットしないと、MxBus接続を確立した後、左のLED(MxBusステータス)が赤く点滅することがあります。この場合、接続されたアクティブ化されたMX-Input-Box を工場出荷時のデフォルトにリセットする必要があります：



- ボックスカバー（3本のネジ）を取り外します。
- ドライバーを使用して、工場出荷時のリセットラベル(赤色の円内)の下の接触面を橋渡しします(両方のLEDが周波数の増加とともに赤色/青色で点滅します)。
- MX-Input-Boxの両方のLEDがグリーンで3回点滅している場合は、ブリッジを取り外すだけでプロセスが正常に終了したことを示します。
- カバーをボックスに戻して取り付けます（トルク0.4 Nm）。
- カメラのMX-Input-Box を設定します（「MX-Input-Box の初期操作」を参照）。

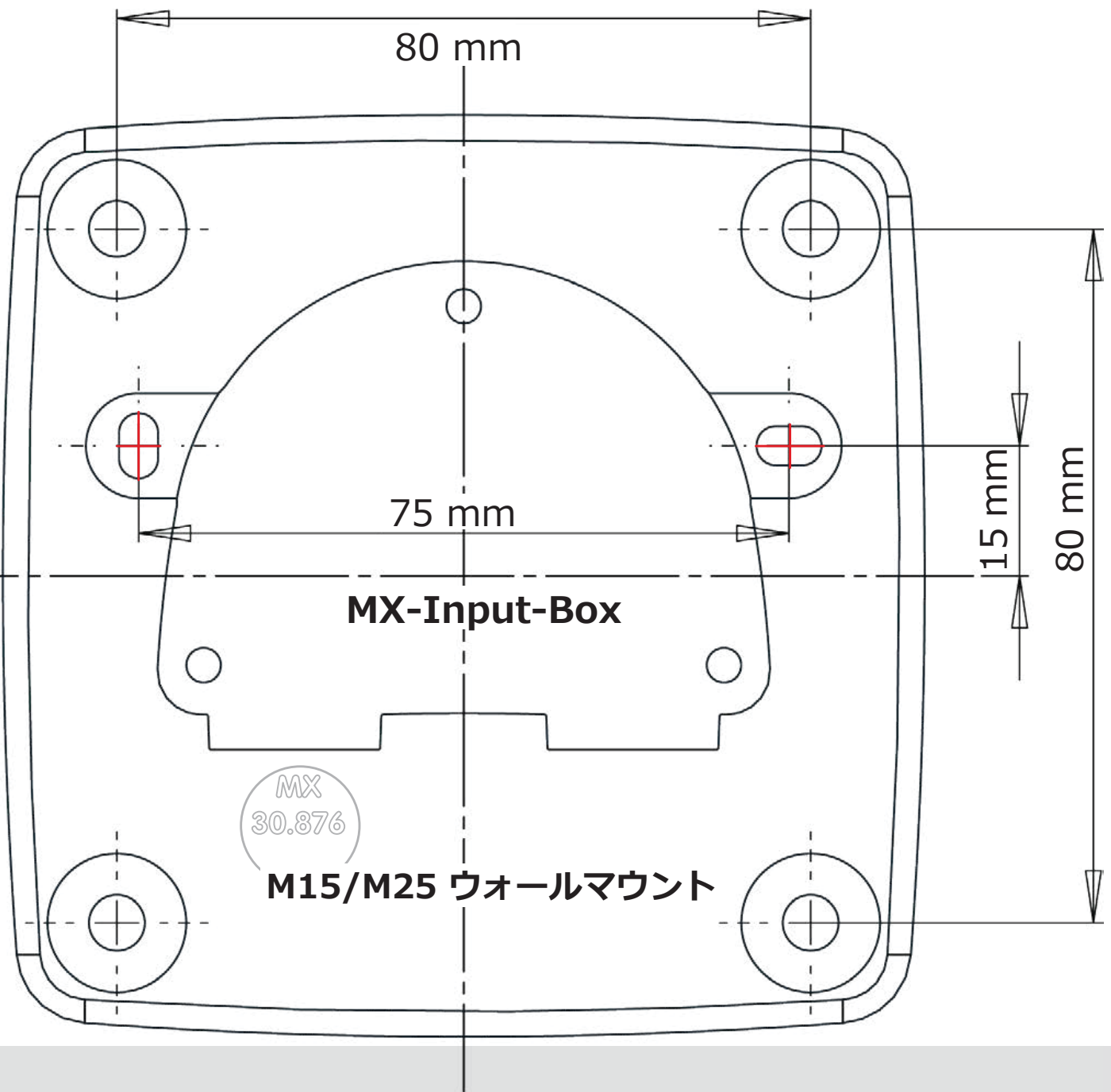
安全上の注意

- この製品は、爆発の危険がある場所では使用しないでください。
- 上記の取付け手順の説明に従って、この製品を取り付けてください。
- 電気システムおよび機器は、適切な電気ガイドラインに従って、資格のある電気技師または有資格の電気技術者の指示および監督のもとでのみ、設置、改造および維持することができます。すべての電気接続が正しく設定されていることを確認してください。
- MOBOTIX MX-Input-Boxは、IP65環境でMOBOTIXカメラの信号入力にのみ使用します。
- すべての関連法規を遵守し、意図された使用に関するすべての認証要件を満たしていることを確認してください。
- MxBusコネクタとソフトウェアバージョンMX-V4.3.0.14以降のMOBOTIXカメラの場合。
- 全てのねじのトルク：0.4 Nm。
- リムが両側に均等に張り出すように、白いケーブルプラグ(8線式プラグまたはケーブルプラグ3~5 mm または5~7 mm)をケーシングに押し込みます。
- MxBus配線全体の長さは、100 mを超えないようにしてください。
- 各信号入力ラインの長さは、50 mを超えてはいけません。
- すべてのワイヤの直径：0.6~0.8 mm(0.8 mm = ライン損失を減らすために推奨されるAWG 21)。
- ジャンパは、MX-Input-Boxの将来のバージョンで使用されるため、現時点では使用しないでください。

スペックシート

カメラとのインターフェース	MxBus
入力	6つの電氣的に分離された入力 (AC / DC、自己電源、最大48V)
端子の断面積	0.14mm ² ~0.5mm ² (AWG 21~26)
保護等級	IP65 (DIN EN 60529)
動作温度	-30~+60 °C(DIN EN 50155)
電源	MxBus
消費電力	通常 0.5W

MX-Input-Box付きM15 / M25ウォールマウントの穴開け用テンプレート



Drilling templates for other MOBOTIX wall mounts:
www.mobotix.com > Support > Manuals

Copyright © MOBOTIX AG 2015 • Made in Germany • Technical information subject to change without notice

イノベーション - Made in Germany

ドイツの会社MOBOTIX AGはネットワークカメラ技術のパイオニアとして知られています。

その分権化されたコンセプトは、高解像度ビデオシステムをコスト効率の高いものにしました。

MOBOTIX AG • D-67722 Langmeil • Phone: +49 6302 9816-103 • Fax: +49 6302 9816-190 • sales@mobotix.com